

ぼくらのまちのヒーロー！ 自主防犯パトロール隊

防災安全課 ☎32-8046 FAX76-5702

地域には、地域の安全安心を守る自主防犯パトロール隊があり、日々まちの安全のために防犯活動を行っています。今回の特集では、みよ獅子ちゃんがこのパトロール隊を紹介します。



ねえねえ、みよ獅子ちゃん。学校や公園の行き帰りによく見る、緑色のベストを着た人たちは何をしているの？

それは自主防犯パトロール隊の人たちだね！ みんなが住むまちの安全のためにパトロールをしてくれているんだよ！



三好クロマツくん
さつきちゃん
みよしに住む仲良し兄妹

みよし市安全安心なまちづくり大使
みよ獅子ちゃん
市の安全安心を守るため啓発活動を頑張っているよ！



自主防犯パトロール隊ってなあに？

登下校時の子どもの見守りや徒歩・自転車・青色回転灯装備車(青パト)でのパトロールなど、さまざまな方法で地域を守るボランティア団体です。市内で23団体、1,414人、39台の青パトが活動中(令和5(2023)年4月1日現在)。防犯のスローガンである「防犯3ない」宣言を合言葉に、地域の安全安心なまちづくりのため昼夜を問わず青パトや徒歩による地域の巡回警戒活動や、不審者・犯罪発生状況を共有する定例会などを行っています。

安全なまちづくりを推進するためのスローガン
防犯3ない宣言

- ・犯罪にあわない
- ・犯罪をおこさせない
- ・犯罪を見逃さない

どうして自主防犯が必要なの？

風邪をひかないためには「予防」が大切であるのと同じように、自分や家族を犯罪から守るためには予防することが重要です。住民一人一人が「自分たちが住む地域は

自分たちで守る」という思いを持ち、多くの人が見守りやパトロール、啓発活動などを行うことで、まちに「犯罪を起こさせにくい雰囲気」を生み出すことができます。

市内にはどんな危険が^{ひそ}潜んでいるの？

不審者

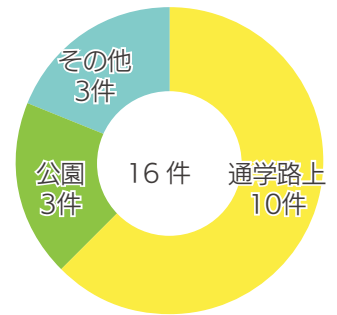
事例①〔小学生〕

公園で知らない人が近づいてきて、背中をたたき「お前の家はどこだ」と言ってきた。その後、その人は走って逃げていった。

事例②〔中学生〕

登校中に携帯電話を持った人から「写真を撮らせてくれないか」と声を掛けられた。

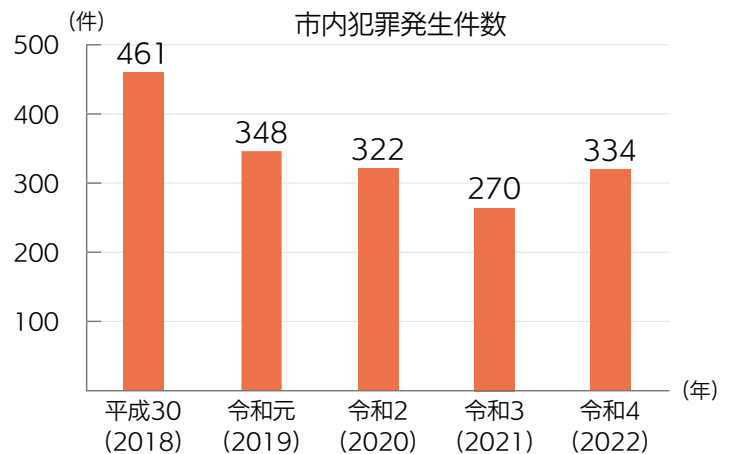
左記の事例は、市内で実際にあった不審者の情報です。市内における令和4(2022)年度中の不審者情報は**16件**でした。登下校中に通学路上で発生しているものが10件、公園や習い事の帰り道など登下校以外での発生が合わせて6件と、その多くが児童生徒の登下校中に発生しています。



▲令和4(2022)年度市内の不審者発生場所

犯罪

令和4(2022)年、市内において**334件**の犯罪が発生しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策で在宅時間が増えたことも一因となり犯罪は一時期減少していましたが、外出機会が増えた今、再び増加しています。



市内で多く発生する身近な犯罪

住宅対象 侵入盗

一般住宅の建物に侵入し金品を盗む犯罪をいい、そのうち、不在時に侵入する「空き巣」、夜間家人の就寝時に侵入する「忍込み」、家人が食事中など起きている時に侵入する「居空き」の3つの手口をいいます。令和4(2022)年中の愛知県内1件当たりの被害総額は約190万円と、近年1件当たりの被害総額が増加傾向にあります。

自動車 関連窃盗

自動車に関する窃盗犯罪をいい、自動車そのものを盗む「自動車盗」では、ランドクルーザー(プラドを含む)やレクサスLX、プリウスといった特定車種に被害の半数以上が集中しています。カーナビなど自動車に取り付けてある部品を盗む「部品ねらい」のうち、令和4(2022)年中の愛知県内における窃盗被害の半数がナンバープレートであり、また「車上ねらい」は自動車の積荷(財布やゴルフバッグなど)を盗むもので、1件当たりの被害総額は約9万円にもなります。



市内では自転車盗も数多く発生しています。令和4(2022)年中の発生件数はなんと**69件!** わずかな時間でも自転車から離れるときは必ず鍵をかけましょう。

豊田警察署 生活安全課第1係
井上 奈穂 巡査長 ▶





身の周りにたくさんの危険が潜んでいることが分かったかな？
そんな危険からまちとみんなを守るため、自主防犯パトロール隊
がどんな活動をしているのか一緒に見てみよう！



自主防犯パトロール隊の活動

●登下校時の見守り

児童の登下校時に通学路を一緒に歩き、車の交通量が多い交差点では交通指導を行うなど、交通安全も同時に見守ります。



●啓発活動

年4回展開される安全なまちづくり県民運動期間に、市と豊田警察署とともに参加。啓発品を配布して市民に防犯対策の重要性を呼びかけます。



●年末特別警戒出発式

年末に隊員が集合し、片手を突き上げ「犯罪をおこさせない！」と力強く防犯の宣言をした後、地域の警戒に出発します。



●講習会の受講

防犯ボランティア養成アカデミーなど防犯に関する講習会を受講して、多くの知識を習得し日頃のパトロール活動に生かします。



各地区のパトロール隊独自の活動例

●独居高齢者宅への特殊詐欺啓発訪問 (三好丘行政区防犯パトロール隊)

民生委員などとともに一人暮らしの高齢者宅へ伺い、啓発品を手渡ししながら特殊詐欺被害防止のための周知と啓発を行います。



●交通安全立哨活動 (東山区自主防犯パトロール隊)

三好高校、豊田警察署、市役所とともに交通安全を呼びかける立哨活動を、年4回実施される交通安全運動期間に合わせて行います。





防犯パトロール隊についてよく分かったかな？

防犯において「地域の目」というのはとても大切なことなんだ。頻りにパトロールされているまちは犯罪を起こしにくいし、地域の人たちの顔を広く知っていることで外から来た不審な人物も見つけやすい。みんなが地域の目を持つことで、まちの安全な暮らしにつながるんだよ。

よく分かったよ！

自主防犯パトロール隊はまちのヒーローなんだね！ 僕たちも自分を自分で守れるよう防犯意識をしっかり持って生活するよ。



コラム Column

みよし市安心ステーション

交通安全と防犯において、住民・警察・行政と協働した活動により市の安全安心なまちづくりを推進するために設置された機関。青パトで市内を巡回し市民からの相談を受けたり、交通安全・防犯教室などを開催したりしています。自主防犯パトロール隊と同じく市の安全安心なまちづくりにおける縁の下の力持ちです。市役所3階にありますのでお気軽にご相談ください。



インタビュー

Interview

防犯活動は人の為ならず

豊田警察署 ^{のむら}野村 ^{よしゆき}喜之署長

みよし市の防犯パトロール隊の皆さん、安全・安心のために、日頃から積極的な防犯パトロール活動をしていただき、ありがとうございます。

地域社会が「安全」であることは、経済、教育、文化など全ての社会活動の基盤であり、みよし市が目指す「人が輝き、挑戦し続けるまち」という都市像においても極めて重要なことです。

防犯活動を行っているのは「警察」や「市役所」だと思っている人が多いと思います。確かに警察も市役所も市民を守るために重要な役割を担っていますが、防犯活動の基本は「自分の身は自分で守る」です。まずは市民の皆さん一人一人が自分や家族の安全を自ら守る努力をお願いします。

「情けは人の為ならず」という言葉があります。人に情けをかけると、巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味です。皆さんには「防犯活動は人の為ならず」であると意識してほしいと思います。地域のために防犯活動をしていると、その活動は巡り巡って自分や家族に返ってくるのです。そういった意味でも、ボランティアとして行われる防犯パトロール隊の活動は地域社会において重要で有意義な活動だと思います。

今後一層、人の動きが活発になり犯罪や交通事故の多発が懸念されます。皆さんには「安全で安心して暮らせるみよし」のために引き続きご協力をお願いします。

